

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマト名護やぶ（放課後等デイサービス）				公表日	令和7年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	活動する時間は、伸び伸びと活動が出来るようにテーブル等移動している。 常に職員が見守りが出来るスペースである。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	子どもの利用人数や特性に合わせ職員配置を心掛けている。	送迎に出たら現場にいる職員も不足になり一人ひとりに手が行き届かない場合もあるので、送迎などの職員確保も検討していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	イラストや写真・文字を私用している。 室内全体にジョイントマットを敷いている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎日の掃除や消毒を行い清潔にしている。 常に安全点検をお行い改修が必要なところは、早急に対応している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	落ち着く空間を確保 子どもの状況に応じて必要な時に使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	毎日のミーティングで話し合いをもっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの意見や相談があった場合、職員で情報共有し改善にする方法を話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員間で、情報共有おwしている。改善するべきかを話し合う時間を設けている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	第三者の意見など聞きながら業務改善に繋げている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	職員全員が参加できるように、休日に研修会を開催している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	職員全員で作成し公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントをとり、保護者・本人のニーズや課題を分析し作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	職員に必要な支援を話し合い情報共有、共通理解し検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	職員が支援計画書をすぐ確認できるように保管支援の内容を確認しながら行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	保護者の方や相談員から頂いた情報と日々の様子などから状況を把握するように努めている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	5領域を全利用者の支援内容に作成し、その他の家族支援、移行支援など設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	職員で話し合いプログラムを立てている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	同じ活動プログラムであってもルールを変えて工夫している。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	1日の中で、個別・集団活動の時間を設けている。集団活動を拒否される児童は無理に参加してもらわず見学してもらおうとしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援の前日か当日に話し合いをし役割の確認をとっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日のミーティングで振り返りの時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	日々の支援記録は、その日のうちに記録するように心掛けていますが、記録ができない場合翌日の朝に記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	6か月に1回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	活動は、一人ひとりに合わせ支援計画を作成し支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	買い物学習など生活における決定や選択する機会を設けていることで自己決定支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	カンファレンス会議をして情報を共有し、児童発達管理者が会議に参加している。	現場の状況を見て職員も参加出来るように検討していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	2	学校や事業所などとは、連携をとっている。	医療機関との連携も図れるように努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	お迎え時に情報共有しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	保育園や幼稚園と情報を共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		お互いに情報を共有し今後のつながりを深めていけるようにしていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		研修会に参加出来るように努めていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	戸外に出掛けた際に、地域の子どもたちとの交流ができる機会がある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4	参加できていない。	積極的に参加するように努めていきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	定期的に保護者へ1日の様子を伝え自宅の様子も聞き共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	4	家族支援を求める方は、ほとんどいない。	家族支援をした方がいいと判断した場合は、連絡など多くとるようにする。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	契約時に意向について話しを聞き、利用計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援内容の説明サイン・押印をいただいています。変更があった場合その都度説明している。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	1	出来る限り対応させていただいています。電話などでも対応している。職員間で、情報共有している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3	きょうだい同士の交流は、定期的に行っている。保護者同士の交流ができていない。	保護者が参加しやすい日程を調整しながら交流の機会をもてるように改善していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	相談や苦情があった場合には、迅速な対応を心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0	ホームページに事業所紹介している。月の予定（活動内容）毎月発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報は、十分に注意している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	保護者との情報のやり取りは行っている。子どもたちには、言葉だけではなく子どもたちが分かるように絵や写真を使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	地域の方々を招待する行事は行っていない。	今後は、地域の方々を招待できるように検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各種マニュアルを作成している。月1回研修会を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	訓練・シミュレーションを行っている。	今後も様々なことを想定して訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0	現在服薬・発作の児童は、いません。	対応ができるように勉強会取り入れていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	契約時に確認しながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	年間スケジュールを組んで取り組んでいる。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全計画を作成 ご家族と連携を図り周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットシートを記入 職員全員で再発防止に向けて話し合い情報共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止委員会を設置 虐待防止マニュアル・動画を見て研修会を開催している。（年2回）	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	身体拘束する事がある場合は、計画書に記載する。	現在利用者はいないが、いつでも対応できるように体制を整える。	